

医療チーム

こんにちは。NST(栄養サポートチーム)です。

NST専従管理栄養士 関口 まゆみ

私たちは、入院患者さんの栄養を支援するチームで、医師(糖尿病・内分泌内科、耳鼻咽喉科、腎臓内科、形成外科、循環器内科、外科)、摂食嚥下障害認定看護師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士による多職種の集まりです。

入院時に、患者さんの栄養状態を評価させていただきます。

1. 入院前に体重が減りましたか？
2. 入院前に食事量が減りましたか？
3. 入院時に、床ずれはありますか？
4. 血清アルブミン値(栄養状態を評価する値)は、どれ位ですか？
5. 入院時に、下痢、嘔吐、吐き気はありますか？
6. 自分で、動くことが可能ですか？
7. おくみがありませんか？
8. 水を飲むとおせることはありますか？

3つ以上該当する方は低栄養状態が疑われます。その中で主治医から栄養支援依頼がある患者さんに、栄養状態改善支援を行っています。

*低栄養状態とは

低栄養状態では、病気の回復が遅れたり、歩く力、食べる力、呼吸する力が衰えたり、傷の治りが遅くなるなど危険性が高くなります。

そこで、栄養状態を改善する『栄養の力』が必要になります。

*私たちは「口から食べる力」を応援します。

栄養摂取方法には、①口から食べる(経口栄養)、②チューブから栄養剤を入れる(経腸栄養)、③カテーテルから栄養輸液を入れる(静脈栄養)の3つの方法があります。

昨今、「胃ろう(お腹にチューブを通して栄養を注入する方法)」の是非について議論がありますが、患者さんにとって有益であると判断すれば胃ろう導入も提案します。

また、腸が使用できる方は、なるべく①、②をお勧めし「食べる力」が衰えないよう支援します。

*私たちは、栄養状態をよくすることで治療に貢献し合併症を予防します。

栄養はリハビリと併用して初めて強い骨や筋肉になります。栄養とリハビリによって、栄養状態が改善し、体力増進することで合併症を予防し治療に貢献するのが目標です。入院中の栄養摂取が満足にできていないと、治療の力になれていない可能性があります。私たちは、そのような患者さんが一日も早くお元気になって退院できるよう、『栄養の力』で支援を致します。どうぞ、お気軽に声をかけて下さい。

私たちは、口から美味しく食べて元気になっていただくための支援チームです！

